

令和7年度 石岡市立葦穂小学校 グランドデザイン

【茨城県の教育目標】

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

【石岡市教育大綱の基本目標】

ふるさとに学び 夢にはばたく 輝くひとつづくりのまち

【石岡市の教育指導の重点】

「自他への尊重」 ← 「自律」「協働」

【学校教育目標】

心身ともに健康で 自ら学ぶ 児童の育成

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

すべての児童生徒の可能性を引き出す教育

《めざす学校像》

- 子どもが明るく、いきいきとあいさつの響く学校
- 教師にとってやりがいのある学校
- 地域に開かれ、地域に貢献できる学校

《めざす児童像》

あ 明るくあいさつ、礼儀正しい子
し 集中して学び、自ら考え表現する子
ほ 本気で取り組み、元気でよく働く子

《めざす教師像》

- 子どもを愛し、人間性豊かな教師
- 使命感をもち、自ら研鑽を重ねる教師
- 保護者や地域の思いや信頼に応える教師

組織目標

多様な考えを認め合い、自己肯定感を高め合う教育活動の実践

安全安心

学校経営の重点

自律と協働

- ① 児童が学ぶ楽しさを感じ、自ら考え、行動し、自分の言葉や方法で表現できる授業づくりを推進する。
- ② 安心・安全を土台とし、児童・保護者・地域との信頼関係を大切にした学級・学校づくりを推進する。
- ③ 職員がウェルビーイングな状態で児童に向き合える働きやすさ、創造的な教育活動を楽しめる働きがい推進する。

教育活動推進の柱と施策

【確かな学力の定着】

自ら学び、自分の言葉・方法で表現できる児童の育成

【豊かな心と健やかな体を育む教育の充実】

心身ともに 健やかで 自分の強みやよさを発揮できる児童の育成

【地域や保護者との連携・協働】

郷土の魅力を知り、郷土を愛する児童の育成

- 自己決定を重視した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ・自ら学び自分の方法で表現できる課題の工夫や学習環境の整備
- ・多様な考えに触れ、自らの考えを深める協働的な場面の設定
- ・自ら調整しながら進める家庭学習の推進（高学年）
- 単元をまとまりで捉え、失敗から学ぶ授業づくりの重視
- ・既習の学習とのつながりや間違いを生かした授業づくり
- ・児童の発言のつながり、まとめ、振り返りの重視
- 特別支援教育の充実
- ・支援が必要な児童への全職員での支援体制
- <具体的目標>
- ・一人一授業研究の実施
- 【学校評価アンケート】（児童）
- ・授業が楽しい 80%
- ・自分の考えを自分の方法で表現している 80%

- 多様な考えに触れ合う道徳教育
- ・本音で語り合える人間関係の構築
- ・本質を考える対話による授業実践
- ・異学年で考える道徳の授業実践
- 経験や失敗から学ぶ特別活動
- ・児童が主体的に考え、活動する委員会活動
- ・育てたい力を明確にした学校行事学年行事の企画・実施
- 異学年活動や外遊びを通しての自分の強みやよさの発揮や体力づくり
- ・縦割り班による遊びや清掃活動の実施
- ・保健・体育科の授業における運動量の確保と健康・安全への意識の醸成
- ・休み時間の外遊びの奨励
- <具体的目標>
- ・縦割り班外遊び年5回以上
- 【学校評価アンケート】（児童）
- ・自分には強みやよさがある80%
- ・学級や学校のために自分の強みやよさを発揮している80%

- 地域の人材を活用した郷土を学ぶ学習の推進
- ・学校運営協議会委員の支援による米づくり体験
- ・学校運営協議会委員とともに学ぶふるさと学習地区探検
- ・大学との連携による茅葺き体験
- ・地域クリーン作戦の実施
- 保幼小・小小・小中連携の推進
- ・幼児施設における支援の見学
- ・3校合同宿泊学習の実施
- 積極的な情報発信
- ・児童の様子や取組が分かる学年だより・学校だよりの発行とHPの更新
- PTAや学校運営協議会等との連携
- ・150周年記念行事における地域との連携
- <具体的目標>
- ・学校だより年10回発行
- ・地域人材を活用した学習 年10回
- 【学校評価アンケート】（児童）
- ・葦穂や石岡に関心がある80%